

〇8月1日(日)開催 第3150回例会
岳連同調例会 シリーズ/六甲山地
「裏六甲の沢筋にイワタバコを訪ねる」

保久良支部(岳連普及委員)小堺 忠史
写真 吉野 宏

新型コロナウイルス感染、再々々拡大のなか、8月1日、兵庫県山岳連盟との同調例会「裏六甲の沢筋にイワタバコを訪ねる」を、募集期限を繰り上げ(参加人数制限)、開始時間を予定より30分早め 他のグループとの接触を避けて開催した。環境省より中村アクティブレンジャーにもご参加頂き、兵庫県山岳連盟 吉野普及委員長、西野理事、普及委員の小堺にて対応させて頂きました。



8:00に神鉄有馬温泉に集合し、全員検温を済ませ、無事8:00過ぎに出発。今回、小生、運営側のひとであることをすっかり失念し、いつも通り集合時間10分前に集合場所に着いた時には、さすがに温厚な普及委員長も「何しとったんや!」と珍しく、喝。

朝一番反省。しかも参加費が合わないと騒がれていて、どうされたのかとと思っていると、1名の不足分が、小生の未払いが原因であったことに併せて反省。(今後、このような場合、まず小生に小声で確認願います。

(´;ω;)ウゥ

出だしにはつまずいたが、気を取り直し出発。今回の募集案内には熟練者向と謳ってあっただけあり、参加者の意識も高く、装備(ヘルメット、ロープ他)準備された方もおられ、嫌がうえにも気が引き締まった。

紅葉谷道起点の一部が大掛かりな工事の為、魚屋道を登り、炭屋道を降りるという回り道を

して白石谷へ。白石谷から百間滝への分岐で小休止する。ここへ来るまでに【百間滝への沢ルートは一部崩壊の為通行禁止】の表示があった。



吉野委員長の指示通り、すぐ奥にある白石滝の両側岩壁を見に行くと、イワタバコが多く咲いていた。水しぶき(ミスト)のおかげでひんやりとし、イワタバコが咲き競う姿は神秘的で、さすがに感動に不感症気味の小生にも訴えてきた。「最奥の白龍滝を取り巻く岩壁はもっとすごいで!!」と言われ期待は高まる!...荒れた山道を進み、次第に沢筋へと進む。濡れた岩場は滑り、勾配がキツイ急登に緊張感を切らさず進む。しばらくすると、今回の目的のイワタバコが咲き競う白龍滝に着いた。



イワタバコを写真、或いは肉眼で記憶に残し、白龍滝を後にし、六甲山最高峰へ向かった。その先の岩場の急登は、精鋭ぞろい??の熟練者にも試練を与えたが、全員無事登頂。

然し、休憩時に同じ大きな平らな岩で、2人も滑るハプニングあり。

皆さん、歩行中だけでなく、休憩中も安全な場所であることと、気を緩めないように気を付けましょう!!

・・・「さあ！出発準備！最後の登りや！頑張っ
て行こか！！」・・・委員長の声が恨めしく聞こ
えたのは私だけではないでしょうね。

一気に急登となった最後の登り？はどこまでな
の？・・・少し傾斜が緩くなったところで、「も
うちよっとや！」と又もや委員長の声。

・・・と思いきや・・・そこから山頂までのシンドか
ったこと！・・・高度差は未だ130メートルも
あったそうでした！・・・



六甲山最高峰から少し下り、一軒茶屋近くの
木陰で昼食を済ませ、環境省の中村アクティ
ブレンジャーより「ヤマビルの対処方」につい
て、ご説明頂いた。



ヤマビルはナメクジの仲間で、塩をかけると
溶けてなくなるとのことですが、対処法も以
下の通り、他の虫対策とあまり変わりませんが、
皆さんも気を付けましょう!!

【対処法】

- ・できるだけ肌を露出しない。
- ・ザックを地べたに置かない。

その後、一軒茶屋のトイレ前で解散となったが、

ほとんどの参加者が有馬温泉まで解散すること
なく、歩かれた。

これまでであれば、温泉→ビールの勝利の方
式であったが、時世柄、汗臭いまま有馬温泉
の地ビール1杯だけ飲んで帰路についた。

当日は、猛暑のなか、沢歩き、イワタバコ、
地ビールと充実した1日であった。



皆さんもワクチン2回接種したからと言って、
過信することなく、きちんとルールを守り、感
染対策を行って、山歩きを楽しみましょう!!

.....

※入り切らなかった写真で～す！



見事に咲いていたイワタバコ



岩場で孤軍奮闘する参加者

天 候 晴れ

参加者 23名

担 当 例会・自然保護委員会

兵庫県山岳連盟/普及委員会